

平成26年4月10日

(第5回)番組審議会 議事録

FMIはしもと株式会社

- 1 開催年月日 平成26年3月30日(日)午前11時から午後12時まで
- 2 場所 和歌山県橋本市東家4-11-4
FMIはしもと株式会社 本社
- 3 出席状況 委員総数 7名(出席委員数6名、欠席委員数1名)
出席委員の氏名(敬称略) 神谷和生、上鶴弘志、後藤加寿恵、高崎正紀、
松田良夫、森下功(五十音順)
欠席委員の氏名 大野和彦
放送事業者側出席者名 代表取締役 向井景子、取締役会長 向井嘉久藏
専務 庄路章

4 議題

- (1) 番組の審議(1月~3月)
- (2) 今年度の番組を振り返って

5 議事の概要

- (1) 1月~3月の番組について
 - ① 番組内で操作ミス等あった場合は、番組内にて早めにお断りやお知らせをするようにとの意見があった。収録番組などすぐに対応できない場合でも、できるだけ早くリスナーへのお知らせができるような体制をつくるようにとの指摘があった。
 - ② 番組内にて、スポンサーの商品を紹介していた際に「他の商品はもう購入できない」というような表現をしているパーソナリティがいた。スポンサーの商品を優先的に紹介するのはいいが、他の商品をけなすような表現は控えたほうがよいとの指摘があった。
 - ③ 千羽鶴の話題の際に、「延命を願って折鶴を作り」という表現をしているパーソナリティがいた。延命という表現はあまりにも悲壮感があり、聞いていていい感じがしなかった。「早くよくなるように」「元気になるように」というような柔らかい表現を用いたほうがよいとの指摘があった。

上記、①~③の意見に対し社員及びパーソナリティに周知すると共に今後も番組制作にあたり今回の意見に留意し、より良い番組作りをしていきます。

- (2) 今年度の番組を振りかえって
緊急時の対応や連絡体制をより充実させ、放送局の利点であるスピーディさを生かし、より地域に貢献できるように努力してほしいとの意見があった。

5 報告

(1) CM 枠について

お客様のご要望に応え、詳しいイベント内容などを告知できるよう1分枠のCMを放送できる体制に変更した。時間は午前7時～午後7時までとし、短期的なCM依頼獲得のために努力していく方針を報告した。

(2) パーソナリティ業務委託説明会の実施（平成26年2月22日）

放送開始1年を迎えて、業務委託契約の更新と放送内容の向上にむけての説明会を行いました。改めて、公共の電波を利用していることの自覚と注意、機材使用に関する注意点を伝えた。

(3) ニュース読みの向上に対する取組

ニュースの読み間違い等がまだ有るとの指摘をいただいた。以前に番組審議会でご指摘のあった、ニュース読みの注意点や読み間違いやすい漢字・地名については共有し、間違いを一覧としてデータ化したものを閲覧できるようにしているが、まだその活用が出来ていなかったりするので、ニュース事前読みを含め確実にする。

(4) 災害協定の締結について

和歌山県、かつらぎ町と防災協定締結の報告をしましたが、橋本市とも現在、前向きな話し合いを続けている。

6 審議会の答申または改善意見に対してとった措置

これまでの審議会のご意見を集約し、パーソナリティへの掲示板を設置したので審議内容を掲示することとする。

7 審議会の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き 平成26年 4月10日

ホームページに掲載 平成26年 4月10日

8 その他の参考事項

特になし